

《基礎科目》

科目名	健康・スポーツ科学				
担当者氏名	川畑 和也				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 広い視野で物事を捉え、感謝の心をもって積極的に学ぶ力をつけている。				

《授業の概要》

【保育士必修】【幼稚園教諭必修】

大学において充実した生活を送り、さらには生涯にわたって豊かな人生を送るためには、心身の健全な育成と健康の増進が不可欠である。本講義では、心身の基礎的機能やその適応能力、多岐にわたるスポーツの役割などを理解し、健康的な生活習慣の獲得のために、運動の重要性やスポーツ実践の在り方について学ぶ。

《授業の到達目標》

- 1 日常生活における体育・スポーツや健康の重要性が説明できるようになる。
- 2 運動、栄養、休養などを柱とした望ましいライフスタイルを形成できる。
- 3 スポーツの在り方について理解し、積極的にスポーツに参画できるようになる。

《成績評価の方法》

筆記試験70%
授業の取組30%

《教科書》

なし（適宜資料を配付する）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

提出された課題等については、評価・フィードバックをした上で返却する。

《成績評価基準》

- 1 授業の内容を踏まえ、自身の考えで日常生活における体育・スポーツや健康の重要性が説明できる。
- 2 望ましいライフスタイルについて理解し、実践できる。
- 3 様々なスポーツへの関わり方を理解し、生涯にわたってスポーツに取り組む姿勢を身につける。

《参考図書》

「大学生のスポーツと健康生活」福岡大学スポーツ科学部編
大修館書店

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	これまでどのように体育・スポーツに取り組んできたか考え、まとめる(2時間) 今回の授業内容の復習(2時間)
2	我が国における健康やスポーツの歴史	健康やスポーツにまつわる法令などについて調べ、具体的にまとめる。(2時間) 今回の授業内容の復習(2時間)
3	現代の生活における健康と運動・スポーツ	健康に関する現代の生活の問題点をまとめる(2時間) 今回の授業内容の復習(2時間)
4	健康と生活習慣	健康な生活習慣の獲得の必要性とその方法について考え、まとめる(2時間) 今回の授業内容の復習(2時間)
5	日常生活と健康・人生観と健康観	自身の健康観について考え、具体的にまとめる(2時間) 今回の授業内容の復習(2時間)
6	運動とからだの健康	運動とからだの健康に関する気になるニュースや記事、本などを調べ、まとめる 今回の授業内容の復習(2時間)
7	運動と心の健康	運動と心の健康に関する気になるニュースや記事、本などを調べ、まとめる 今回の授業内容の復習(2時間)
8	運動処方・行動変容ステージと変容技法	自身の運動実施状況や運動実施を阻害する要因についてまとめる(2時間) 今回の授業内容の復習(2時間)
9	運動・スポーツ実践の基礎知識	運動・スポーツを実施する際に気を付ける点や安全に関して調べ、まとめる(2時間) 今回の授業内容の復習(2時間)
10	スポーツ障害・応急処置	スポーツによる障害や応急処置について調べ、まとめる(2時間) 今回の授業内容の復習(2時間)
11	生涯にわたるスポーツ実践	「生涯スポーツ」等について調べ、まとめる(2時間) 今回の授業内容の復習(2時間)
12	アウトドアとスポーツ	「アウトドアスポーツ」等について調べ、まとめる(2時間) 今回の授業内容の復習(2時間)
13	スポーツと社会の関わり	オリンピックについて調べて、まとめる(2時間) 今回の授業内容の復習(2時間)
14	スポーツと社会の関わり	スポーツボランティアについて調べて、まとめる(2時間) 今回の授業内容の復習(2時間)
15	まとめ	これまでの授業内容を復習する(2時間) 今回の授業内容の復習(2時間)

《基礎科目》

科目名	心理学				
担当者氏名	富永 明子				
授業方法	講義	単位・必修	2単位・必修	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 広い視野で物事を捉え、感謝の心をもって積極的に学ぶ力をつけている。 1-DP2 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。				

《授業の概要》

【保育士選択】

幅広い心の世界をさまざまな角度から知る。毎回配布するプリントに基づいて講義を聴き学ぶ。さらに、各テーマについて自分自身の日常に引きつけながら理解していく。理論の学習のほか、体験的ワークや小グループでの意見交換を通して理解を深める。

《授業の到達目標》

1. 心理学の基礎知識・理論について知り、心のはたらきについて理解する。
2. 学んだ基礎理論や知識について、適切に説明できる。
3. 日常生活で、自分や他者の思考・感情と行動のつながりがわかり、問題解決をめざすことができる。
4. 学んだことを「保育の心理学」や「教育心理学」を理解するために応用できる。

《成績評価の方法》

筆記試験 80% レポート 10%
課題 % 実技 %
授業の取組 10%
その他 () %

《教科書》

適宜プリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

レポートについては、必要に応じたコメントをつけて2週間以内に返却する。
筆記試験の後は解説を行う。

《成績評価基準》

学んだ知識・理論等を、暗記レベルではなく自分自身の言葉で説明できるような理解のもと説明ができるか。
また、授業に意欲をもって取り組み、理解したことを適切に表現できるか。

《参考図書》

「心理学」無藤隆・森敏昭・遠藤由美・玉瀬耕治著、有斐閣

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 心理学とは何か	予習: 「心理学」について関心のあることについて情報を集める(2時間) 復習: 授業内容を整理し、プリントにまとめる(2時間)
2	感覚・知覚	予習: 専門書等で感覚や知覚についての基礎知識を調べておく(2時間) 復習: 授業内容を整理し、プリントにまとめる(2時間)
3	記憶	予習: 記憶のメカニズムに関する用語を調べておく(2時間) 復習: 授業内容を整理し、プリントにまとめる(2時間)
4	欲求と行動	予習: 人間の欲求に関する基礎知識を調べておく(2時間) 復習: 授業内容を整理し、プリントにまとめる(2時間)
5	感情と情動	予習: 感情についての基礎知識を調べておく(2時間) 復習: 授業内容を整理し、プリントにまとめる(2時間)
6	性格 性格のなりたち	予習: 性格に関する理論について調べておく(2時間) 復習: 授業内容を整理し、プリントにまとめる(2時間)
7	性格 性格について知る方法	予習: 性格検査について基礎知識を調べておく(2時間) 復習: 授業内容を整理し、プリントにまとめる(2時間)
8	無意識と深層の心理	予習: 「精神分析」や「分析的心理学」について調べておく(2時間) 復習: 授業内容を整理し、プリントにまとめる(2時間)
9	深層の心理を知る方法	予習: 投影法検査に関する基礎知識を調べておく(2時間) 復習: 授業内容を整理し、プリントにまとめる(2時間)
10	集団と社会行動	予習: 社会心理学の理論について調べておく(2時間) 復習: 授業内容を整理し、プリントにまとめる(2時間)
11	こころの問題 こころの問題とは	予習: 「臨床心理学」の基礎知識を調べておく(2時間) 復習: 授業内容を整理し、プリントにまとめる(2時間)
12	こころの問題 問題に対処するには	予習: 心理療法について調べておく(2時間) 復習: 授業内容を整理し、プリントにまとめる(2時間)
13	援助の心理と行動	予習: 対人援助の基礎知識を調べておく(2時間) 復習: 授業内容を整理し、プリントにまとめる(2時間)
14	心理学を生き方に活用する	予習: 学んだ心理学の知識を生活の中でどう活かすかを考察する(2時間) 復習: 授業内容を整理し、プリントにまとめる(2時間)
15	授業のまとめ	予習: 授業内容をふり返り、質問を考えておく(2時間) 復習: 授業内容を整理し、プリントにまとめる(2時間)

《基礎科目》

科目名	コンピュータ演習				
担当者氏名	稲田 義邦				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 広い視野で物事を捉え、感謝の心をもって積極的に学ぼう力をつけている。				

《授業の概要》

【保育士選択】【幼稚園教諭必修】

保育者として必要な情報モラル及び情報セキュリティについて学び、園の運営に必要な文書や計算等をWordやExcel等を使って作成することができるようになる。そして、保育の計画や記録などの文書管理や一般的な事務処理を効率的に行うことができるようになることで、保育の質の向上を目指す。

《教科書》

「情報リテラシー」富士通エフ・オー・エム（株）FOM出版

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題についてはデータ提出を行い、2週間以内にコメントを返却。

《授業の到達目標》

- ・保育者として必要な情報モラル及び情報セキュリティについて、述べることができる。
- ・園の運営に必要な文書をWordで作成することができる。
- ・園の運営に必要な計算等をExcelで作成することができる。

《成績評価基準》

- ・保育者として必要な情報モラル及び情報セキュリティについて、述べることができたか。
- ・園の運営に必要な文書をWordで作成することができたか。
- ・園の運営に必要な計算等をExcelで作成することができたか。

《成績評価の方法》

課題 90%
授業の取組 10%

《参考図書》

なし

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	予習：コンピュータの基本操作について教科書を熟読しておくこと。(30分) 復習：コンピュータの基本操作についてノートにまとめる。(30分)
2	情報モラル	予習：教科書M1-M8を熟読しておくこと。(30分) 復習：教科書M1-M8での気づきをノートにまとめる。(30分)
3	個人情報の適切な取り扱い	予習：教科書M9-M18を熟読しておくこと。(30分) 復習：教科書M19-M28での気づきをノートにまとめる。(30分)
4	ネット社会に潜む危機と対策	予習：教科書M29-M42を熟読しておくこと。(30分) 復習：教科書M43-M48での気づきをノートにまとめる。(30分)
5	Wordの特徴と基本的文書作成	予習：Wordの基本操作について、教科書を熟読しておくこと。(30分) 復習：Wordの基本操作について気づきをノートにまとめる。(30分)
6	Wordによる案内文書作成	予習：Wordの書式設定について熟読しておくこと。(30分) 復習：Wordのフォント設定について気づきをノートにまとめる。(30分)
7	Wordによる図を挿入した文書作成	予習：図の挿入方法について熟読しておくこと。(30分) 復習：図の挿入方法と配置について気づきをノートにまとめる。(30分)
8	Wordによる表を挿入した文書作成	予習：表の作成方法について熟読しておくこと。(30分) 復習：表の挿入方法と配置について気づきをノートにまとめる。(30分)
9	Wordによる指導案作成1	予習：指導案の内容について検討しておくこと。(30分) 復習：指導案の形式について検討しノートにまとめる。(30分)
10	Wordによる指導案作成2	予習：指導案の内容と形式について検討しておくこと。(30分) 復習：指導案の内容と形式について検討しノートにまとめる。(30分)
11	Excelによる基本的な表作成	予習：Excelの基本操作について熟読しておくこと。(30分) 復習：Excelの基本操作について気づきをノートにまとめる。(30分)
12	Excelによる関数利用	予習：Excelの関数の種類について熟読しておくこと。(30分) 復習：Excelの関数利用について気づきをノートにまとめる。(30分)
13	Excelによるグラフ作成	予習：Excelのグラフの種類について熟読しておくこと。(30分) 復習：Excelのグラフ利用について気づきをノートにまとめる。(30分)
14	Excelによるデータベース作成	予習：Excelのデータベース作成について熟読しておくこと。(30分) 復習：Excelのデータベース活用について気づきをノートにまとめる。(30分)
15	Word及びExcelによる課題作成・提出	予習：Word&Excelの課題について検討しておくこと。(30分) 復習：Word&Excelの課題について反省をノートにまとめる。(30分)

《基礎科目》

科目名	総合演習				
担当者氏名	富永 明子、平山 隆浩、吉原 美南子、溝上 敦子、川畑 和也、和田 紘平、高丘 有季乃				
授業方法	演習	単位・必修	1単位・必修	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 広い視野で物事を捉え、感謝の心をもって積極的に学ぶ力をつけている。 1-DP2 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。				

《授業の概要》

【卒業必修】大学生生活の重要な基礎である学習力と、社会人となるための基本的認識や行動を身につけるために、テーマごとの講義、レポート作成、ワーク、ボランティア等の活動を行う。また、保育者を目指す上で必要なマナーの基礎講習を毎回行うとともに、2年次の就職活動に向けての進路指導を行う。専任教員によるクラス単位および個別の指導を通して、学習と学生生活の全般についてサポートする。

《授業の到達目標》

建学の精神を理解し、「感謝の心」「謙虚な心」「和の心」を意識して行動することができる。
大学生としての学習基礎スキルを身につける。
社会人基礎力とはなにか具体的に説明することができる。
社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。

《成績評価の方法》

課題 60%
授業の取組 40%

《教科書》

「これだけは知っておきたい
わかる・話せる・使える保育のマナーと言葉」
長島和代 編 わかば社

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

・提出レポートは、各クラス担任が二週間以内にコメントをつけ返却する。
・ポートフォリオは、各クラス担任が二週間以内にコメントをつけ返却する。

《成績評価基準》

建学の精神を理解し、「感謝の心」「謙虚な心」「和の心」を意識して行動することができるようになったか。
大学生としての学習基礎スキルを身につけることができたか
社会人基礎力とはなにか具体的に説明することができたか。
社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができたか。

《参考図書》

随時配布

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	学科方針・履修指導・前期自己課題の設定	予習内容(30分) 学生便覧に目を通しておく 復習内容(30分) 授業内容についてノートにまとめる
2	頭髪・服装検査 学習スキルについて	予習内容(30分) 事前配布資料等を参考に予習する 復習内容(30分) 授業内容についてノートにまとめる
3	社会人基礎力 学習基礎スキル・実習用写真撮影	予習内容(30分) 学生調査票内容を下書きする 復習内容(30分) 授業内容についてノートにまとめる
4	社会人基礎力 電話等ボランティアの意義方法	予習内容(30分) 指定された教科書のページをもとに予習する 復習内容(30分) 授業内容についてノートにまとめる
5	社会人基礎力 スーツの着こなし・メイク等	予習内容(30分) 指定された教科書のページをもとに予習する 復習内容(30分) 授業内容についてノートにまとめる
6	個別面談・学校行事の企画案を考える	予習内容(30分) 事前配布資料等を参考に予習する 復習内容(30分) 授業内容についてノートにまとめる
7	個別面談・学校行事の企画案を考える	予習内容(30分) 自己課題について考える 復習内容(30分) 授業内容についてノートにまとめる
8	個別面談・学校行事の企画案を考える	予習内容(30分) オープンキャンパスについて企画案を考える 復習内容(30分) 授業内容についてノートにまとめる
9	メンタルヘルス講習会(全学科合同)	予習内容(30分) 自己課題について考える 復習内容(30分) 授業内容についてノートにまとめる
10	学外文化研修について 学校行事への取組	予習内容(30分) 事前配布資料等を参考に予習する 復習内容(30分) 授業内容についてノートにまとめる
11	進路ガイダンス・就職模擬試験(全学科合同)	予習内容(30分) 模擬試験に向けて予習する 復習内容(30分) 授業内容についてノートにまとめる
12	クラスレクリエーション(クラス別)	予習内容(30分) レクリエーションの意義について調べる 復習内容(30分) 授業内容についてノートにまとめる
13	保育者としての心得	予習内容(30分) 指定された教科書のページをもとに予習する 復習内容(30分) 授業内容についてノートにまとめる
14	前期試験の諸注意・オープンキャンパス指導ほか	予習内容(30分) 学生便覧の該当箇所を読む 復習内容(30分) 授業内容についてノートにまとめる
15	社会人基礎力習熟度チェック・夏休み直前指導	予習内容(30分) これまでの授業内容をポートフォリオにまとめる 復習内容(30分) 授業内容についてノートにまとめる

《基礎科目》

科目名	茶道文化				
担当者氏名	吉井 恵子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力	1-DP1 広い視野で物事を捉え、感謝の心をもって積極的に学ぶ力をつけている。				

《授業の概要》

【保育士選択】茶道は日常生活から掛け離れたものではありません。相手を思いやり、心を配り、おもてなしをするのが茶道の精神です。
風炉薄茶点前、和室での作法・立ち振る舞いなど実技をしながら、「一服の茶を点て客をもてなす」ことを通して、茶道の精神を学び、和室での作法などを身につけていきます。

《教科書》

必要に応じてプリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

授業中に講評します

《授業の到達目標》

- ・和室での作法、挨拶ができるようになる。
- ・風炉の薄茶の点前がひと通りできるようになる。
- ・感謝の気持ちを持ち、相手を思いやり、心配りができるようになる。

《成績評価基準》

- ・和室での作法をどれくらい習得できたか
- ・風炉薄茶点前をどれくらい習得できたか
- ・感謝の気持ちを持ち、相手を思いやり、心配りができているか
- ・日頃の授業態度

《成績評価の方法》

実技 60%
授業の取組 40%

《参考図書》

「茶の湯表千家」他
適宜紹介します

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 和室での作法・挨拶	予習：シラバスを読むこと(30分) 復習：和室での作法・挨拶を繰り返し練習すること(30分)
2	風炉薄茶点前を見る 茶の湯の道具・客の作法	予習：プリントを熟読すること(30分) 復習：客の作法を繰り返し練習すること(30分)
3	割けいこ(帛紗さばき等) ・茶の歴史	予習：プリントを熟読すること(30分) 復習：割けいこを繰り返し練習すること(30分)
4	割けいこ(茶筌通し等) 呈茶の作法	予習：割けいこを繰り返し練習すること(30分) 復習：割けいこを繰り返し練習すること(30分)
5	割けいこ おもてなしについて	予習：割けいこを繰り返し練習すること(30分) 復習：割けいこを繰り返し練習すること(30分)
6	風炉薄茶点前(前半)	予習：割けいこを繰り返し練習すること(30分) 復習：点前のイメージトレーニングをすること(30分)
7	風炉薄茶点前(前半)	予習：点前のイメージトレーニングをすること(30分) 復習：点前のイメージトレーニングをすること(30分)
8	風炉薄茶点前(前半)	予習：点前のイメージトレーニングをすること(30分) 復習：点前のイメージトレーニングをすること(30分)
9	風炉薄茶点前(前半)	予習：点前のイメージトレーニングをすること(30分) 復習：点前のイメージトレーニングをすること(30分)
10	風炉薄茶点前(全)	予習：点前のイメージトレーニングをすること(30分) 復習：点前のイメージトレーニングをすること(30分)
11	風炉薄茶点前(全)	予習：点前のイメージトレーニングをすること(30分) 復習：点前のイメージトレーニングをすること(30分)
12	風炉薄茶点前(全) 炭について	予習：点前のイメージトレーニングをすること(30分) 復習：点前のイメージトレーニングをすること(30分)
13	風炉薄茶点前(全) 拝見の仕方	予習：点前のイメージトレーニングをすること(30分) 復習：点前のイメージトレーニングをすること(30分)
14	風炉薄茶点前(全)	予習：点前のイメージトレーニングをすること(30分) 復習：点前のイメージトレーニングをすること(30分)
15	総括 茶会形式にて	予習：点前のイメージトレーニングをすること(30分) 復習：家族に美味しいお茶を点ててください(30分)

《専門科目》

科目名	教育原理				
担当者氏名	溝上 敦子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。				

《授業の概要》

【保育士必修】【幼稚園教諭必修】

「教育とは何か」「人間の成長とは何か」という基礎的基本的な問題を、哲学、思想、歴史的側面から理解する。また、社会における幼児教育機関での教育の営み、教育課程、教育制度、教育政策、諸法規などの内容を理解し、教育の在り方について自分で考える力を身に付ける。授業では、ワークシートや具体物の活用、グループ協議などを通して実践的な基礎力を培う。

《授業の到達目標》

1. 教育の意義、教育の目的、教育と保育について理解し、教育の思想と歴史的変遷等、教育の基礎的事項を整理し、一般化して説明できる。
2. 教育制度、教育政策、諸法規、教育課程、多様な教育実践の取組、経営的实践、評価等について整理して説明できる。
3. 幼保小の連携や安全教育の必要性、また、乳幼児期の教育・保育の現状と課題について考察し表現できる。

《成績評価の方法》

筆記試験 60%
課題 20%
授業の取組 20%

《教科書》

坂越正樹 他『乳幼児 教育・保育シリーズ 教育原理』光生館、2020年

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

提出したレポートについては、2週間以内に評価し返却する。筆記試験については、総括・まとめの時間で解説の時間を設ける。

《成績評価基準》

1. 教育の意義や目的、教育と保育、教育の思想と歴史的変遷等、教育の基礎的事項を理解し、整理して説明できたか。
2. 教育制度、教育政策、諸法規、教育課程、多様な教育実践の取組、経営的实践、評価等について整理して説明できたか。
3. 幼保小の連携や安全教育の必要性、また、乳幼児期の教育・保育の現状と課題について考察し表現できたか。

《参考図書》

『幼稚園教育要領解説』フレーベル館(2018)、『保育所保育指針解説』フレーベル館(2018)、福元真由美編『はじめての子ども教育原理』有斐閣(2017)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション/教育の意義について	教科書pp. 1～5に目を通しておくこと。2時間 今回の授業で学んだ内容の復習(ワークシートの活用)。2時間
2	教育・保育の目的	教科書pp. 5～16に目を通しておくこと。2時間 今回の授業で学んだ内容の復習(ワークシートの活用)。2時間
3	教育と福祉/人間形成と家庭・地域社会との関連	教科書pp. 17～29に目を通しておくこと。2時間 今回の授業で学んだ内容の復習(ワークシートの活用)。2時間
4	乳幼児期の教育と発達の特徴/生涯学習の意義	教科書pp. 45～62に目を通しておくこと。2時間 今回の授業で学んだ内容の復習(ワークシートの活用)。2時間
5	教育制度の基本と日本の教育体系	教科書pp. 63～79に目を通しておくこと。2時間 今回の授業で学んだ内容の復習(ワークシートの活用)。2時間
6	諸外国の教育思想と子ども観	教科書pp. 80～84に目を通しておくこと。2時間 今回の授業で学んだ内容の復習(ワークシートの活用)。2時間
7	近代学校教育の成立と展開	教科書pp. 80～84に目を通しておくこと。2時間 今回の授業で学んだ内容の復習(ワークシートの活用)。2時間
8	日本における近代教育制度の創設	教科書pp. 84～97に目を通しておくこと。2時間 今回の授業で学んだ内容の復習(ワークシートの活用)。2時間
9	日本における幼児教育の変遷	教科書pp. 98～115に目を通しておくこと。2時間 今回の授業で学んだ内容の復習(ワークシートの活用)。2時間
10	幼稚園と保育所等における保育内容の変遷	教科書pp. 117～135に目を通しておくこと。2時間 今回の授業で学んだ内容の復習(ワークシートの活用)。2時間
11	教育の実践—教育の目的と内容	教科書pp. 136～155に目を通しておくこと。2時間 今回の授業で学んだ内容の復習(ワークシートの活用)。2時間
12	特別支援教育	教科書pp. 156～170に目を通しておくこと。2時間 今回の授業で学んだ内容の復習(ワークシートの活用)。2時間
13	地域社会と学校	教科書pp. 171～186に目を通しておくこと。2時間 今回の授業で学んだ内容の復習(ワークシートの活用)。2時間
14	現代日本の教育の現状と課題について	教科書pp. 187～205に目を通しておくこと。2時間 今回の授業で学んだ内容の復習(ワークシートの活用)。2時間
15	総括・まとめ	前週に説明した重点内容に目を通しておくこと。2時間 今回の授業で学んだ内容の復習(振り返り)。2時間

《専門科目》

科目名	保育原理				
担当者氏名	前田 亜由美				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身につけている。				

《授業の概要》

【保育士必修】保育の基本（保育の意義、目的、内容、方法・形態等）や歴史、法律制度について知識を習得する。また、保育現場の事例をもとに、その背景にある子どもの心情や姿、保育者の援助や配慮の意図等を読み解く。加えて、子どもを取り巻く環境の変化や保育の現状についての調査データ等を用いて、保育の課題について解釈する。

《授業の到達目標》

1. 保育の基本(保育の意義、目的、内容、方法・形態等)を理解し、説明することができる。 2. 保育に関わる法律・制度を理解し、実践における社会的根拠を説明できる。 3. 子ども理解の本質と保育場面の事例を関連づけて、子どもの心情や保育者の援助、配慮について解釈することができる。 4. 子どもを取り巻く環境の変化を捉え、現代の保育における課題についての解決策を推論することができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 60% レポート %
 課題 25% 実技 0%
 授業の取組 15%
 その他 () 0%

《教科書》

『アクティベート保育学01 保育原理』（2019年）汐見稔幸・大豆生田啓友（監修）ミネルバ書房

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

授業後に感想を記入して頂き、次回の授業内でフィードバックする。質問があった場合は、次回の授業内で解説を行う。試験後、フィードバックとして解説の時間を設ける。

《成績評価基準》

授業に意欲的に参加できるか。
 本授業で学んだことを理解し、説明することができ、授業の到達目標が達成できているか。
 保育に関わる法律・制度を理解しているか。

《参考図書》

『保育所保育指針』（2017年）厚生労働省
 『幼稚園教育要領』（2017年）文部科学省
 その他は、授業内で適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション ～保育とは？	予習内容 教科書に目を通す(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
2	保育を原理的に考える	予習内容 教科書pp.3-21を熟読し、整理する(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
3	保育の歴史に学ぶ1	予習内容 教科書pp.153-174を熟読し、整理する(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
4	保育の歴史に学ぶ2	予習内容 教科書pp.153-174を熟読し、整理する(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
5	保育と子ども理解	予習内容 教科書pp.23-39を熟読し、整理する(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
6	保育の内容と方法	予習内容 教科書pp.65-77を熟読し、整理する(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
7	保育の計画と評価	予習内容 教科書pp.79-93を熟読し、整理する(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
8	保育者の専門性と資質向上	予習内容 教科書pp.137-150を熟読し、整理する(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
9	保育に関わる法律と制度	予習内容 教科書pp.209-224を熟読し、整理する(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
10	保育と子育て支援	予習内容 教科書pp.95-114を熟読し、整理する(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
11	健康・安全と保育	予習内容 教科書pp.115-135を熟読し、整理する(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
12	多様な子ども理解と保育	予習内容 教科書pp.176-193を熟読し、整理する(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
13	学校や地域の連携のなかで行う保育	予習内容 教科書pp.195-207を熟読し、整理する(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
14	これからの保育の課題と展望	予習内容 教科書pp.225-240を熟読し、整理する(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
15	まとめ	予習内容 第1～14回授業の資料等を振り返り、整理する(1時間) 復習内容 第1～15回授業の資料等を振り返り、整理する(1時間)

《専門科目》

科目名	社会的養護				
担当者氏名	永瀬 枯緑				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。				

《授業の概要》

【保育士必修】

近年、子どもを取り巻く環境は大きく変化してきており、虐待等、様々な問題を抱える家庭が増えている。授業では社会的養護の概念や理念を学びつつ、子どもの人権擁護の意義について理解を深める。また、保育士としての基本的な資質・能力の向上を図り、実践力の基盤をつくる。

《教科書》

「社会的養護」監修 公益財団法人 児童育成協会 編集 相沢仁 林浩康 中央法規 2021

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

試験内容に対する振り返りや解説の時間を設ける。

《授業の到達目標》

- ・社会的養護の概念を理解し、その根本である理念や原理について説明できる。
- ・子どもの権利擁護について説明できる。
- ・社会的養護の制度と実施体系について説明できる。

《成績評価基準》

- ・社会的養護の概念を理解し、その根本である理念や原理について説明できるようになったか。
- ・子どもの権利擁護について説明できるようになったか。
- ・社会的養護の制度と実施体系について説明できるようになったか。

《成績評価の方法》

筆記試験 80%
授業の取組 20%

《参考図書》

なし

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	社会的養護の理念と概念	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
2	社会的養護の歴史の変遷	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
3	子どもの人権擁護と社会的養護	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
4	社会的養護の基本原則	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
5	社会的養護における保育士等の倫理と責務	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
6	社会的養護の制度と法体系	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
7	社会的養護のしくみと実施体系	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
8	社会的養護のファミリーソーシャルワーク	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
9	社会的養護の対象と支援のあり方	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
10	家庭養護と施設養護	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
11	社会的養護にかかわる専門職	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
12	社会的養護に関する社会的状況	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
13	施設等の運営管理の現状と課題	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
14	被措置児童等の虐待防止の現状と課題	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
15	社会的養護と地域福祉の現状と課題	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)

《専門科目》

科目名	社会福祉概論				
担当者氏名	日下部 修				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身につけている。				

《授業の概要》

【保育士必修】

社会福祉の歴史の変遷を通してその意味や理念を理解します。次いで、現代日本の社会福祉の制度と実施体系を理解します。さらに社会福祉と児童家庭福祉の関係と児童と家庭をめぐる諸問題の関連を理解し、保育士としてとるべき姿勢や援助方法について説明できるようになります。こうして保育士として必要な社会福祉に関する基本的知識を修得します。

《授業の到達目標》

現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷及び社会福祉における児童家庭福祉の視点について説明できる。

社会福祉制度や実施体系について主要なものを列挙できる。

社会福祉における相談援助の要点を説明できる。

社会福祉サービスの利用者保護の仕組みを説明できる。

社会福祉の動向と課題について説明できる。

《成績評価の方法》

筆記試験 90%

授業の取組 10%

《教科書》

・志濃原亜美：編『みらい×子どもの福祉ボックス 社会福祉』 みらい 2020年
 （授業では、プリントを配布します。）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

試験後に講評あるいは解説の時間を設けます。

《成績評価基準》

筆記試験で、到達目標の ~ について問われたときに解答することができる。

授業中の居眠りや私語、携帯電話・スマートフォンの使用は認めません。これを順守出来ないと認めた場合は、授業の取組で減点する可能性がある。

《参考図書》

適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション、社会福祉を学ぶ意味	予習：テキストの次回授業の該当箇所を熟読しておくこと。(30分) 復習：講義内容に関するニュースについて自分なりの考えをまとめておくこと。(30分)
2	社会福祉の理念と概念	予習：テキストの次回授業の該当箇所を熟読しておくこと。(30分) 復習：講義内容に関するニュースについて自分なりの考えをまとめておくこと。(30分)
3	社会福祉の歴史(イギリスを中心に)	予習：テキストの次回授業の該当箇所を熟読しておくこと。(30分) 復習：講義内容に関するニュースについて自分なりの考えをまとめておくこと。(30分)
4	社会福祉の歴史(日本を中心に)	予習：テキストの次回授業の該当箇所を熟読しておくこと。(30分) 復習：講義内容に関するニュースについて自分なりの考えをまとめておくこと。(30分)
5	子どもに関わる社会問題と権利擁護	予習：テキストの次回授業の該当箇所を熟読しておくこと。(30分) 復習：講義内容に関するニュースについて自分なりの考えをまとめておくこと。(30分)
6	子ども家庭福祉の基本理念と福祉制度	予習：テキストの次回授業の該当箇所を熟読しておくこと。(30分) 復習：講義内容に関するニュースについて自分なりの考えをまとめておくこと。(30分)
7	高齢者福祉の基本理念と福祉制度	予習：テキストの次回授業の該当箇所を熟読しておくこと。(30分) 復習：講義内容に関するニュースについて自分なりの考えをまとめておくこと。(30分)
8	障がい者福祉の基本理念と福祉制度	予習：テキストの次回授業の該当箇所を熟読しておくこと。(30分) 復習：講義内容に関するニュースについて自分なりの考えをまとめておくこと。(30分)
9	地域福祉の基本理念と福祉制度	予習：テキストの次回授業の該当箇所を熟読しておくこと。(30分) 復習：講義内容に関するニュースについて自分なりの考えをまとめておくこと。(30分)
10	社会福祉関連法及び関連機関	予習：テキストの次回授業の該当箇所を熟読しておくこと。(30分) 復習：講義内容に関するニュースについて自分なりの考えをまとめておくこと。(30分)
11	社会福祉の財政	予習：テキストの次回授業の該当箇所を熟読しておくこと。(30分) 復習：講義内容に関するニュースについて自分なりの考えをまとめておくこと。(30分)
12	社会福祉の専門職に求められる資質と役割	予習：テキストの次回授業の該当箇所を熟読しておくこと。(30分) 復習：講義内容に関するニュースについて自分なりの考えをまとめておくこと。(30分)
13	相談援助の方法と技術	予習：テキストの次回授業の該当箇所を熟読しておくこと。(30分) 復習：講義内容に関するニュースについて自分なりの考えをまとめておくこと。(30分)
14	会福祉における利用者保護の仕組み	予習：テキストの次回授業の該当箇所を熟読しておくこと。(30分) 復習：講義内容に関するニュースについて自分なりの考えをまとめておくこと。(30分)
15	福祉の動向と課題	予習：テキストの次回授業の該当箇所を熟読しておくこと。(30分) 復習：講義内容に関するニュースについて自分なりの考えをまとめておくこと。(30分)

《専門科目》

科目名	保育の心理学				
担当者氏名	富永 明子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。				

《授業の概要》

【保育士必修】

乳幼児期の発達と心理的特徴についての基礎知識と理論を、テキストに沿って講義と視聴覚教材により学ぶ。

各回のテーマについて、保育現場の具体的な場面における状況を用いて知識を応用できるよう考察し、ミニレポートにまとめる。さらに、小グループで意見交換を行い、より理解を深める。

《授業の到達目標》

1. 乳幼児の発達の特徴について基本的事項を説明できる。
2. 乳幼児期の心理に関する重要な理論や用語と、発達を促す視点について説明できる。
3. 具体的な事例について、保育者の適切な対応を想定することができる。
4. 学んだ知識と視点をもとに、保育現場での実践において、乳幼児の発達を促すための関わりを想定できる。

《成績評価の方法》

筆記試験 80% レポート 10%

課題 % 実技 %

授業の取組 10%

その他 () %

《教科書》

「保育の心理学～実践につなげる、子どもの発達理解」井戸ゆかり編著、萌文書林

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

レポートについては必要に応じたコメントをつけて2週間以内に返却する。
筆記試験の後は解説を行う。

《成績評価基準》

学んだ知識・理論等を、暗記レベルではなく自分自身の言葉で説明できるような理解、説明ができるか。
また、授業に意欲を持って取り組み、理解したことを適切に表現できるか。

《参考図書》

「子どもとかわる人のための心理学」沼山博・三浦主博編著、萌文書林

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション/発達を理解する意義	予習：教科書の「はじめに」～p3を読み、授業の流れを把握しておく(2時間) 復習：教科書を読み、プリントをまとめて授業内容を整理する(2時間)
2	子どもの発達と環境	予習：教科書p4～12を読む(2時間) 復習：プリントを活用して授業内容をまとめる(2時間)
3	発達理論～生涯発達の視点から	予習：教科書p13～21を読む(2時間) 復習：プリントを活用して授業内容をまとめる(2時間)
4	子ども観と保育観	予習：教科書p21～34を読む(2時間) 復習：プリントを活用して授業内容をまとめる(2時間)
5	情緒の発達と自我	予習：教科書p35～50を読む(2時間) 復習：プリントを活用して授業内容をまとめる(2時間)
6	自己主張と自己抑制	予習：教科書p51～58を読む(2時間) 復習：プリントを活用して授業内容をまとめる(2時間)
7	愛着の形成	予習：教科書p59～66を読む(2時間) 復習：プリントを活用して授業内容をまとめる(2時間)
8	社会的相互作用	予習：教科書p67～76を読む(2時間) 復習：プリントを活用して授業内容をまとめる(2時間)
9	身体の発育と運動機能の発達	予習：教科書p77～89を読む(2時間) 復習：プリントを活用して授業内容をまとめる(2時間)
10	知覚と認知の発達	予習：教科書p91～102を読む(2時間) 復習：プリントを活用して授業内容をまとめる(2時間)
11	ことばの発達と社会性	予習：教科書p103～112を読む(2時間) 復習：プリントを活用して授業内容をまとめる(2時間)
12	基本的な生活習慣の獲得と発達	予習：教科書p113～123を読む(2時間) 復習：プリントを活用して授業内容をまとめる(2時間)
13	子どもの遊びと学び	予習：教科書p137～144を読む(2時間) 復習：プリントを活用して授業内容をまとめる(2時間)
14	乳幼児期の学びを支える保育	予習：教科書p145～158を読む(2時間) 復習：プリントを活用して授業内容をまとめる(2時間)
15	幼児期後の人生を見据えた保育/まとめ	予習：教科書p160～182を読む。授業全体をふり振り返り、質問を考えておく(2時間) 復習：プリントを活用して授業内容をまとめる(2時間)

《専門科目》

科目名	子どもの保健				
担当者氏名	緒方 智美				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身につけている。				

《授業の概要》

【保育士必修】子どもの保健は健康を守るだけでなく、健康を増進する積極的な活動でなければならない。変化する社会の中で子どもと家族の置かれている現状を理解し、子どもの健康を保持・増進させることを目的とした保健活動について学ぶ。また、発育・発達途中にある子どもの特性を理解し、子どもの保健・母子保健の意義、母子保健行政の役割について学び、子どもの健康に関し保育の中で支援できる知識を身につける。

《授業の到達目標》

- 1.子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解できる。
- 2.子どもの身体的な発育・発達と保健について理解できる。
- 3.子どもの心身の健康状態とその把握の方法について理解できる。
- 4.子どもの疾病とその予防法及び他職種間の連携・協働の下での適切な対応について理解できる。

《成績評価の方法》

筆記試験 60%
 課題 30%
 授業の取組 10%
 欠席 - 2点 遅刻 - 1点

《教科書》

「子どもの保健テキスト」改定第2版 小林美由紀編著 森脇浩一編集協力（診断と治療社）
 その他、必要時、資料を配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

授業で提出した課題については、すべて個別に返却します。質問は随時受け付けし、質問のうち、全体に周知したほうがよい内容については、授業内で全体にフィードバックします。その際、質問した個人が特定されないよう十分配慮します。

《成績評価基準》

科目修了試験(60%)、課題レポート(30%)、受講態度(10%)
 筆記試験は講義出席2/3以上を受験資格とする。
 講義の内容について課題レポート・ミニテストを課すことがある。

《参考図書》

「環境構成の理論と実践 保育の専門性に基づいて」 高山静子書（エイデル研究所）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス 子どもの健康と保健	予習 教科書 p1~13の熟読(2時間) 復習 教科書、資料等の振り返り(2時間)
2	子どもの出生 現代社会の現状と課題	予習 教科書 p14~29の熟読(2時間) 復習 教科書、資料等の振り返り(2時間)
3	身体発育と運動機能の発達	予習 教科書 p30~43の熟読(2時間) 復習 教科書、資料等の振り返り(2時間)
4	生理機能の発達と生活習慣	予習 教科書 p44~52の熟読(2時間) 復習 教科書、資料等の振り返り(2時間)
5	子どもの発達と環境構成	予習 教科書 p30~52の熟読(2時間) 復習 教科書、資料等の振り返り(2時間)
6	地域における保健活動と子どもの虐待防止	予習 教科書 p53~61の熟読(2時間) 復習 教科書、資料等の振り返り(2時間)
7	子どもの健康状態の観察と体調不良時の把握	予習 教科書 p62~66の熟読(2時間) 復習 教科書、資料等の振り返り(2時間)
8	免疫の発達と感染症の予防及び適切な対応	予習 教科書 p67~83の熟読(2時間) 復習 教科書、資料等の振り返り(2時間)
9	子どもの救急疾患の特徴と適切な対応	予習 教科書 p84~93の熟読(2時間) 復習 教科書、資料等の振り返り(2時間)
10	新生児の病気、先天性の病気の特徴と対応	予習 教科書 p94~100の熟読(2時間) 復習 教科書、資料等の振り返り(2時間)
11	アレルギー疾患の特徴と適切な対応	予習 教科書 p101~108の熟読(2時間) 復習 教科書、資料等の振り返り(2時間)
12	慢性疾患の特徴と適切な対応	予習 教科書 p109~121の熟読(2時間) 復習 教科書、資料等の振り返り(2時間)
13	保護者との情報共有と家族の支援	予習 教科書 p122~131の熟読(2時間) 復習 教科書、資料等の振り返り(2時間)
14	子どもの健康診断と関連機関との連携 まとめ	予習 教科書 p132~141の熟読(2時間) 復習 教科書、資料等の振り返り(2時間)
15	科目修了試験	教科書・配布資料よりすべてを復習しておくこと

《専門科目》

科目名	保育内容総論				
担当者氏名	前田 亜由美				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。				

《授業の概要》

【保育士必修】【幼稚園教諭必修】

保育の基本的な考えや専門的知識を身につけ、総合的な保育の指導や援助、配慮を意識しながら保育現場の事例や保育に関する映像を読み解く。幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の構造を捉え、保育内容をひもといていく。

《授業の到達目標》

1. 保育内容を保育内容総論として学ぶ意義について理解し、保育実践に応用できるようになる。2. 保育内容の歴史の変遷を学び、現代の保育内容について説明することができる。3. 保育事例から子どもの発達や生活の様子、現代社会における子どもを取り巻く環境、遊びを保育現場の実態と関係づけて解釈することができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 60% レポート %
 課題 20% 実技 0%
 授業の取組 20%
 その他 () 0%

《教科書》

『演習 保育事例満載！保育内容総論 あなたならどうしますか？』（2021年）酒井幸子・守巧（編著）萌文書林

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

授業後に感想を記入して頂き、次回の授業内でフィードバックする。質問があった場合は、次回の授業内で解説を行う。試験後、フィードバックとして解説の時間を設ける。

《成績評価基準》

授業に意欲的に参加できるか。
 本授業で学んだことを理解し、説明することができ、授業の到達目標が達成できているか。
 保育事例を保育現場の実態と関連付けて解釈できているか。

《参考図書》

保育所保育指針（2017年）厚生労働省
 幼稚園教育要領（2017年）文部科学省
 その他、授業内で適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション ～保育内容総論とは？	予習内容 教科書pp10-13を読む(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
2	保育内容の歴史の変遷	予習内容 教科書pp16-30を読む(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
3	3法令における保育内容	予習内容 教科書pp32-49を読む(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
4	子どもと保育内容 子ども理解	予習内容 教科書pp52-59を読む(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
5	子どもと保育内容 子どもの発達と生活	予習内容 教科書pp60-74を読む(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
6	子どもを取り巻く環境	予習内容 教科書pp75-82を読む(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
7	子どもと遊び	予習内容 教科書pp83-94を読む(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
8	領域「健康」「人間関係」と保育内容	予習内容 教科書pp96-112を読む(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
9	領域「環境」「言葉」「表現」と保育内容	予習内容 教科書pp113-136を読む(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
10	保育者の専門性と保育内容の総合的な展開	予習内容 教科書pp137-150を読む(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
11	気になる子どもの支援	予習内容 教科書pp152-165を読む(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
12	保護者との連携	予習内容 教科書pp166-179を読む(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
13	幼保小の連携	予習内容 教科書pp180-189を読む(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
14	家庭・地域・関係機関との連携	予習内容 教科書pp190-198を読む(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
15	まとめ	予習内容 第1～14回授業の資料等を振り返り、整理する(30分) 復習内容 第1～15回授業の資料等を振り返り、整理する(30分)

《専門科目》

科目名	保育内容の理解と方法（ことば遊び）				
担当者氏名	川崎 徳子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP4 他者とのコミュニケーション能力も含めた表現力が身につけている。				

《授業の概要》

【保育士必修】

- ・子どもの生活と遊びにおける他者との関係や集団の中での育ちの理解と援助に関わる知識と技術を学ぶ。
- ・子どもの生活や遊びにおいて、イメージを豊かにし感性を養うための環境構成と保育の展開に必要な知識や技術を学ぶ。
- ・子どもの生活と遊びにおける様々な遊具や用具、資材や教材等の特性の理解とその作成や活用に必要な知識や技術を学ぶ。

《授業の到達目標》

- ・子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と保育所保育指針に示される保育の内容を理解する。
- ・子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を習得し、実践できるようになる。
- ・保育における教材等の作成及び活用と保育の環境構成及び具体的展開のための技術を習得し、実践できるようになる。

《成績評価の方法》

- 筆記試験 - % レポート 30 %
 課題（制作と実演） 30 %
 実技（絵本の読み聞かせ等） 20 %
 授業の取組等（受講態度、感想文含む） 20 %
 その他（ ） - %

《教科書》

《課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法》

- ・ストーリーテリング・絵本の読み聞かせ・ことば遊び・作品発表等には、その都度講評を行う。
- ・講義後の感想文に対しては、次回の講義で解説等行う。
- ・レポートについては、課題発表時、事前に解説を行う。

《成績評価基準》

- ・子どもの心身の発達や環境、保育内容（ことば遊び）についての理解ができたか。
- ・ことば遊びの知識や技術を習得できたか。
- ・保育教材の制作と活用、環境構成、保育技術を習得できたか。

《参考図書》

- 保育所保育指針
 幼稚園教育要領
 幼保連携型認定こども園教育・保育要領

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション・子どもの発達と児童文化財	絵本の音読(30分) 講義のまとめ(30分)
2	児童文化財の楽しさと演じ方1(絵本・紙芝居)	絵本・紙芝居の予習(30分) 講義のまとめ(30分)
3	児童文化財の楽しさと演じ方2(人形劇等)	人形劇・ペープサート・パネルシアター・エプロンシアターの予習(30分) 講義のまとめ(30分)
4	児童文化財の楽しさと演じ方3(わらべ歌等)	わらべ歌・ことば遊びの予習(30分) 講義のまとめ(30分)
5	児童文化財の楽しさと演じ方4・実技	ストーリーテリングの予習(30分) 講義のまとめ(30分)
6	児童文化財制作1・実技	教材選定・制作準備(30分) 講義のまとめ(30分)
7	児童文化財制作2・実技	制作・実技準備(30分) 講義のまとめ(30分)
8	児童文化財制作3・実技	制作・実技準備(30分) 講義のまとめ(30分)
9	児童文化財制作4・実技	制作・実技準備 講義のまとめ(30分)
10	作品発表・実演・講評1	実演準備(30分) 講義のまとめ(30分)
11	作品発表・実演・講評2	実演準備(30分) 講義のまとめ(30分)
12	作品発表・実演・講評3	実演準備(30分) 講義のまとめ(30分)
13	作品発表・実演・講評4	実演準備(30分) 講義のまとめ(30分)
14	実技(絵本の読み聞かせ等)	実技準備(30分) 講義のまとめ(30分)
15	まとめ・レポート課題発表と解説	作品写真提出準備(30分) 課題レポート準備(30分)

《専門科目》

科目名	保育内容の理解と方法（身体遊び）				
担当者氏名	川畑 和也				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP4 他者とのコミュニケーション能力も含めた表現力が身につけている。				

《授業の概要》

【保育士必修】

子どもの心身の発達や取り巻く環境を理解し、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な身体遊びを体験を通して学び、実践的に技術の習得する。また、保育者の役割を理解し、環境構成や具体的展開のための技術の習得を目指す。

《教科書》

なし（適宜資料を配付する）

《課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法》

提出課題等は評価・フィードバックをした上で返却を行う。

《授業の到達目標》

- 1 子どもにとっての身体遊びの意義を理解する。
- 2 身体遊びの体験を通して、保育者として自ら実践できる力や遊びをアレンジする力を育む。
- 3 指導案を作成し、身体遊びの展開ができる。

《成績評価基準》

- 1 子どもにとっての身体遊びの意義を理解できたか。
- 2 身体遊びの体験を通して、保育者として自ら身体遊びを実践することができたか。
- 3 指導案の作成ができ、実際に身体遊びを展開できたか。

《成績評価の方法》

課題30%
実技50%
授業の取組20%

《参考図書》

『楽しく遊ぶ運動遊びのすすめ』（2017）柴田卓・石森真由子編株式会社みらい・『乳幼児のための豊かな感性を育む身体表現遊び』（2020年）瀧信子ほか 著者 株式会社ぎょうせい

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション/身体遊びの意義	身体遊びについて、その種類や効果について調べて、まとめる(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
2	子どもの発育発達と遊び	子どもの発育発達と遊びの関係について調べて、まとめる(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
3	ストレッチ・徒身体操、移動運動	移動運動について調べる(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
4	マット・とび箱・鉄棒を使った運動	マット・とび箱・鉄棒運動について調べる(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
5	伝承的な身体遊び	伝承遊びの種類について調べて、まとめる(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
6	ロープ・フープを使っての身体遊び	ロープを使った身体遊びについて調べて、まとめる(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
7	ボールを使っての身体遊び	ボールを使った身体遊びについて調べて、まとめる(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
8	ボールを使っての身体遊び	ボールを使った身体遊びについて調べて、まとめる(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
9	身体遊びと表現	伝承遊び・手遊び・歌遊びについて調べて、まとめる(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
10	身体遊びと表現	身近な素材を生かした遊びについて調べて、まとめる(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
11	身体遊びと表現	パラバルーンを生かした遊びについて調べて、まとめる(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
12	グループ支援の計画	実際にどのような活動を取り入れるかを調べて、支援の準備を行う(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
13	グループ支援の実際	グループ支援の計画に基づき、実際に活動に必要な準備、練習を行う(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
14	グループ支援の実際	グループ支援の計画に基づき、実際に活動に必要な準備、練習を行う(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
15	まとめ	これまでの授業内容を復習する(30分) 今回の授業内容の復習(30分)

《専門科目》

科目名	保育内容の理解と方法（音遊び）				
担当者氏名	吉原 美南子、和田 紘平				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP4 他者とのコミュニケーション能力も含めた表現力が身につけている。				

《授業の概要》

【保育士必修】

子どもの鋭敏な感性を伸ばし、豊かな心を育むために必要な音楽的要素、読譜力、音程感覚、リズム感等を楽曲を通し、また言葉としての歌詞、環境から感じられる自然の音等から学びます。これらの様々な音を感じることでできる耳と心を育み、子ども達と楽しく音楽表現ができる保育者に必要な技術を実技、実践を通して習得します。

《授業の到達目標》

- ・保育所保育指針による、子どもの発達に即した音との関わりや表現について、五領域との関係づけを具体的に述べるができる。
- ・子どもの豊かな感性や創造性を育むために必要な音楽的要素を解釈し表現技術に応用できる。
- ・毎日の小さな積み重ね（音楽表現ノートの記入を含む）により、表現技術の実践力を確実に身につけることができる。

《成績評価の方法》

- 課題（小テストを含む）25%
- 実技（音楽表現実技の発表）50%
- 授業の取組（音楽表現ノートを含む）25%

《教科書》

"あなたも弾けるやさしい童謡唱歌" 木村鈴代編著 同文書院
"教職課程のための大学ピアノ教本-バイエルとツェルニーによる展開" 教育芸術社

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

- ・「音楽表現ノート」を準備し、毎回、予習と授業内での学びを記入。授業終了時に提出。コメントなど記入されたノートを各自受け取り、次回の授業までに復習と予習を記入し備える。
- ・「小テスト」を随時実施。音楽的要素の理解を深める為、全問正解するまで、再提出の回数は問わない。

《成績評価基準》

- ・五領域との関係づけが意識できるようになったか。
- ・音楽的要素の解釈及び理解を深め、表現技術に応用できるようになったか。（読譜力・楽語の理解・正確な演奏技術）
- ・音楽表現実技の発表にて、音楽表現活動の実践ができるようになったか。

《参考図書》

保育所保育指針解説

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 音楽表現に必要な要素	予習(30分) 保育所保育指針解説「表現」を読んでおく 復習(30分) 自分の音楽表現活動の記録をつける
2	五領域の「表現」とは	予習(30分) 保育所保育指針解説「表現」と関連する他の五領域を読んでおく 復習(30分) 授業でのきづき、表現活動の記録をつける
3	表現と他の領域との関わり(1) サウンドスケープ	予習(30分) 音楽表現活動を毎日5分以上行い、記録をつける 復習(30分) 音日記を毎日記録する
4	表現と他の領域との関わり(2) 生活の歌	予習(30分) 音楽表現活動を毎日5分以上行い、記録をつける 復習(30分) 授業内で学んだ音楽的要素を自身の音楽表現活動で確認する
5	表現と他の領域との関わり(3) 季節の歌	予習(30分) 音楽表現活動を毎日5分以上行い、記録をつける 復習(30分) 授業内で学んだ音楽的要素を自身の音楽表現活動で確認する
6	表現と他の領域との関わり(4) 季節の歌	予習(30分) 音楽表現活動を毎日5分以上行い、記録をつける 復習(30分) 授業内で学んだ音楽的要素を自身の音楽表現活動で確認する
7	表現と他の領域との関わり(5) 子どもの歌	予習(30分) 音楽表現活動を毎日5分以上行い、記録をつける 復習(30分) 授業内で学んだ音楽的要素を自身の音楽表現活動で確認する
8	表現と他の領域との関わり(6) 子どもの歌	予習(30分) 音楽表現活動を毎日5分以上行い、記録をつける 復習(30分) 授業内で学んだ音楽的要素を自身の音楽表現活動で確認する
9	子どものための楽しい表現実践(1) リミット①	予習(30分) 音楽表現活動を毎日5分以上行い、記録をつける 復習(30分) 授業内で学んだことを自分の表現活動で確認する
10	子どものための楽しい表現実践(2) リミット	予習(30分) 音楽表現活動を毎日5分以上行い、記録をつける 復習(30分) 授業内で学んだことを自分の表現活動で確認する
11	子どものための楽しい表現実践(3) ペンタニック	予習(30分) 音楽表現活動を毎日5分以上行い、記録をつける 復習(30分) 授業内で学んだことを自分の表現活動で確認する
12	子どものための楽しい表現実践(4) リズム楽器	予習(30分) 音楽表現活動を毎日5分以上行い、記録をつける 復習(30分) 授業内で学んだことを自分の表現活動で確認する
13	子どものための楽しい表現実践(5) 鍵盤楽器	予習(30分) 音楽表現活動を毎日5分以上行い、記録をつける 復習(30分) 授業内で学んだことを自分の表現活動で確認する
14	総合的な音楽表現活動	予習(30分) 音楽表現活動を毎日5分以上行い、記録をつける 復習(30分) 出来るようになったこと、足りない部分は何かを考え改善策を、記録する
15	音楽表現実技の発表	予習(30分) 日々の記録を振り返り、自身の変化に気づき、改善していく 復習(30分) 発表の反省から、今後必要な音楽表現活動の対策を考え実行する

《専門科目》

科目名	保育内容の理解と方法（感覚遊び）				
担当者氏名	平山 隆浩				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP4 他者とのコミュニケーション能力も含めた表現力が身につけている。				

《授業の概要》

【保育士必修】

子どもたちの豊かな感性と創造性を育むため、保育者自身が感覚を研ぎ澄まし世界を感覚で捉えるということを取り戻す必要がある。Play with Materials（素材との戯れ）をキーワードに、自らの五感と感覚を意識しながら、様々な感覚を豊かにする造形遊びを体験し素材研究を行う。毎回感覚で捉えたことをノートに書き、14回目に五感・感覚マップとしてまとめる。

《授業の到達目標》

身近な自然やものの色や形、感触やイメージ等に親しむ活動を通して、保育の展開に必要な知識や技術を習得する。

身体感覚を研ぎ澄まし、感覚で世界を捉え、保育者に求められる観察力を身につける。

幼児期に、豊かな感性と創造性を育むことの意味と重要性について体験を通して理解し説明することができる。

《成績評価の方法》

レポート 30%

課題 50%

授業の取組 20%

《教科書》

保育内容領域表現 日々わくわくを生きる子どもの表現
堂本真実子 編著 わかば社

《課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法》

- ・制作課題については、提出後に講評と個別指導を行う。
- ・五感。感覚マップについては、提出の翌週に講評を行う。
- ・レポート課題は、後期「幼児と表現」の授業で返却する。

《成績評価基準》

身近な自然やものの色や形、感触やイメージ等に親しむ活動を通して保育の展開に必要な知識や技術を習得できたか。

身体感覚を研ぎ澄まし、感覚で世界を捉え、保育者に求められる観察力を身につけることができたか。

幼児期に、豊かな感性と創造性を育むことの意味と重要性について体験を通して理解し説明することができたか。

《参考図書》

随時提示する

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)	復習内容(時間)
1	五感と感性を育む保育	予習内容(30分) シラバスを熟読しておくこと 復習内容(30分) 感覚が捉えたものをノートにまとめる	
2	布と戯れる	予習内容(30分) トートバックのデザインを考える 復習内容(30分) 感覚が捉えたものをノートにまとめる	
3	風と戯れる - 飛ばす -	予習内容(30分) 指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと 復習内容(30分) 感覚が捉えたものをノートにまとめる	
4	風と戯れる - 揺れる -	予習内容(30分) 指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと 復習内容(30分) 感覚が捉えたものをノートにまとめる	
5	草・葉っぱ・花びらと戯れる - 色水遊び -	予習内容(30分) 指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと 復習内容(30分) 感覚が捉えたものをノートにまとめる	
6	水・砂と戯れる - サンドアート -	予習内容(30分) 指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと 復習内容(30分) 感覚が捉えたものをノートにまとめる	
7	光と戯れる - ペープサートで影絵あそび -	予習内容(30分) 指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと 復習内容(30分) 感覚が捉えたものをノートにまとめる	
8	光と戯れる - ペープサートで影絵あそび -	予習内容(30分) 指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと 復習内容(30分) 感覚が捉えたものをノートにまとめる	
9	フィンガーペインティング	予習内容(30分) 指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと 復習内容(30分) 感覚が捉えたものをノートにまとめる	
10	質感の異なる素材を用いたプリコラージュ	予習内容(30分) 指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと 復習内容(30分) 感覚が捉えたものをノートにまとめる	
11	質感の異なる素材を用いたプリコラージュ	予習内容(30分) 指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと 復習内容(30分) 感覚が捉えたものをノートにまとめる	
12	木と戯れる - 感触と香りに着目して -	予習内容(30分) 指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと 復習内容(30分) 感覚が捉えたものをノートにまとめる	
13	粘土遊び	予習内容(30分) 指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと 復習内容(30分) 感覚が捉えたものをノートにまとめる	
14	五感・感覚マップの制作	予習内容(30分) 感覚ノートを整理しておく 復習内容(30分) 感覚が捉えたものをノートにまとめる	
15	子どもの育ちと感覚	予習内容(30分) これまでの学びをポートフォリオにまとめる 復習内容(30分) 感覚が捉えたものをノートにまとめる	

《専門科目》

科目名	乳児保育				
担当者氏名	城 真衣子				
授業方法	講義	単位・必修	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。				

《授業の概要》

【保育士必修】

乳児保育の意義・目的・役割等の理解を深め、3歳未満児の発達を踏まえた保育内容や運営の実際を学ぶ。

《教科書》

『乳児保育の基礎と実践』 関根久美・山本智子 大学図書出版

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

試験のフィードバックとして講評や解説の時間を設ける。授業内に配布するワークシートについては、次回の授業内で授業に反映させる又はコメントをつけて返却する。

《授業の到達目標》

乳児保育の意義・目的について歴史的変遷を理解し、日本社会における乳児保育の役割について説明ができる。保育所、乳児院等多様な場における乳児保育を学び、それぞれの具体的な保育内容を考証する。3歳未満児の発達・発達を踏まえた保育内容と運営体制について理解し、実際の保育現場の事例を解説できる。職員間、保護者、地域の関係機関との連携や協働について理解し、今後の学びへの自らの課題を見つけ出す。

《成績評価基準》

乳児保育の現状について、意義・目的・課題を歴史的変遷を踏まえ理解しているか(筆記試験) 多様な乳児保育の場における実際の保育内容をまとめる(ワークシート、レポート) 3歳未満児の発達理解、発達に即した保育内容の理解について筆記試験で確認する 組織的に働くための自己課題について学びを深めた上でレポートにまとめる(レポート)

《成績評価の方法》

筆記試験 50 % レポート 20 %
 課題 % 実技 %
 授業の取組 30 % その他 () %

《参考図書》

適宜紹介します

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	乳児保育の意義	予習：シラバスを読んでくる 復習：授業ワークシートの復習部分を行う
2	乳児保育・子育て家庭支援の社会的状況と課題	予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる 復習：授業ワークシートの復習部分を行う
3	保育所における乳児保育	予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる 復習：授業ワークシートの復習部分を行う
4	保育所以外の児童福祉施設における乳児保育	予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる 復習：授業ワークシートの復習部分を行う
5	家庭的保育・小規模保育等における乳児保育	予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる 復習：授業ワークシートの復習部分を行う
6	家庭を取り巻く環境と子育て支援の場	予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる 復習：授業ワークシートの復習部分を行う
7	0歳児～満3歳児の生活と環境	予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる 復習：授業ワークシートの復習部分を行う
8	0歳児～満3歳児の遊びと環境	予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる 復習：授業ワークシートの復習部分を行う
9	0歳児～満3歳児の保育に移行する時期の保育	予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる 復習：授業ワークシートの復習部分を行う
10	0歳児～満3歳児の発達を踏まえた援助や関わり	予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる 復習：授業ワークシートの復習部分を行う
11	10歳児～満3歳児の発達を踏まえた保育の配慮	予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる 復習：授業ワークシートの復習部分を行う
12	乳児保育における計画・記録・評価とその意義	予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる 復習：授業ワークシートの復習部分を行う
13	職員間の連携・協働	予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる 復習：授業ワークシートの復習部分を行う
14	保護者との連携・協働	予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる 復習：授業ワークシートの復習部分を行う
15	自治体や地域関係機関等との連携・協働	予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる 復習：授業ワークシートの復習部分を行う

《専門科目》

科目名	障害児保育				
担当者氏名	森 孝一				
授業方法	演習	単位・必修	1単位・必修	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。				

《授業の概要》

【保育士必修】

保育現場では障害のある子どもや発達気になる子どもが増えている。まずは、障害のとらえ方や障害に対する基本的知識を学び、障害の種類や特性への理解を深める。また、視聴覚教材を使って、事例に触れながら保育士としての実践力の向上を図る。必要に応じてグループワーク・疑似体験等を取り入れる。

《教科書》

「障がい児保育」 監修 小橋明子 編著 小橋拓真 著 小山内あかね 竹野内ゆかり 中山書店 2019

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

試験内容に対する振り返りや解説の時間を設ける。

《授業の到達目標》

- ・障害児保育を支える理念や原理を説明できる。
- ・障害の種類や特性を的確に説明できる。
- ・保育現場での配慮事項や環境の工夫を述べるができる。
- ・保護者への望ましい援助や関係機関との連携について説明できる。

《成績評価基準》

- ・障害児保育の理念や原理を説明できるようになったか。
- ・障害の特性等を的確に説明できるようになったか。
- ・保育現場での配慮事項や環境の工夫を述べるできるようになったか。
- ・保護者への望ましい援助や関係機関との連携について説明できるようになったか。

《成績評価の方法》

筆記試験 80%
授業の取組 20%

《参考図書》

なし

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス・障害児保育の概要	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
2	「障害(がい)」の概念と障害児保育の基本	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
3	発達とは	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
4	脳の発達と障害	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
5	障害児の理解と保育における発達の援助	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
6	感覚統合について	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
7	視覚・聴覚・言語障害児の理解と援助	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
8	肢体不自由児の理解と援助	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
9	知的障害児の理解と援助	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
10	発達障害児の理解と援助	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
11	重症心身障害児・医療的ケア児の理解と援助	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
12	特別な配慮を要する子どもの保育の実際	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
13	指導計画及び個別の支援計画の作成	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
14	発達を促す生活や遊びの環境について	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
15	保護者や関係機関との連携について	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)

《専門科目》

科目名	保育園芸				
担当者氏名	藤原 良治				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 広い視野で物事を捉え、感謝の心をもって積極的に学ぶ力をつけている。				

《授業の概要》

公園やテーマパークなどの草花演出や栽培を実践現場で携わった教員が、講義と実習を交えた形式で授業を行います。
 講義は、草花・野菜の栽培を通して植物のしくみ、ふれあう楽しさ、環境に配慮した育成等について学習していきます。
 季節に応じて授業を進めていきますので、春～初夏にかけての栽培が中心となります。実習は主に正面玄関周辺のプランターや屋上の花壇を利用します。

《授業の到達目標》

- ・植物の取り扱いができるようになる。
- ・植物の基礎的な維持管理ができるようになる。
- ・草花植栽の基礎的な演出ができるようになる。
- ・授業で取り扱う植物の性質と名前を覚える。

《成績評価の方法》

筆記試験 50%
 実技 20%
 授業の取組 30%

《教科書》

使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

最終授業の筆記試験終了時に試験内容の解説及び質疑応答を行います。

《成績評価基準》

- ・授業の態度や取り組み意欲を判断して評価します。
- ・小テストや実習を通して理解、習得の度合いを判断して評価します。
- ・筆記試験の結果を通して総合評価します。

《参考図書》

『別冊 NHK 趣味の園芸 園芸入門』ほか

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	植物観察及び植物のしくみについて	予習内容：「授業のテーマ」の内容について事前に学習を行う(0,5時間) 復習内容：学習した内容を整理して習得に努める(0,5時間)
2	植物の育成土壌について	予習内容：「授業のテーマ」の内容について事前に学習を行う(0,5時間) 復習内容：小テストの内容を理解し、学習した内容について復習する(0,5時間)
3	草花栽培	予習内容：" 復習内容："
4	"	予習内容：" 復習内容："
5	"	予習内容：" 復習内容："
6	"	予習内容：" 復習内容："
7	植物の生育環境について	予習内容：" 復習内容："
8	ハーブ・野菜(サツマイモ)の栽培	予習内容：" 復習内容："
9	"	予習内容：" 復習内容："
10	植物を利用したクラフト遊び	予習内容：" 復習内容："
11	"	予習内容：" 復習内容："
12	ピオトープについて	予習内容：" 復習内容："
13	子供と園芸	予習内容：" 復習内容："
14	"	予習内容：" 復習内容：筆記試験に向けて授業で学習した内容について復習する(2時間)
15	筆記試験及びまとめ	予習内容：全講義内容についての理解に努める。(2時間以上) 復習内容：筆記試験の内容を理解し、学習した内容について復習する(1時間)

《専門科目》

科目名	子どもの遊び実践				
担当者氏名	高丘 有季乃				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。				

《授業の概要》

【保育士選択】この科目は、様々な手遊びや歌遊び等の遊戯の提案を通して、実習や保育現場で活用できる遊びのアイデアを養いつつ、保育実践に必要な力を実践的に鍛えようとするものです。子どもの発達段階や保育計画を踏まえた状況に応じて、遊びの企画力・指導力を養うことを目的とします。授業で想定した対象児や状況に合わせて、グループワークで遊びの提案を行ったり発表したりすることで、より実践力を高めます。

《授業の到達目標》

保育実践の場での手遊びや歌遊び等の意義を理解する。
 子どもの発達段階や状況に応じた遊びの提案ができる。
 授業内での遊び実践を通して、保育実践に活用できる遊びのレパートリーを増やす。

《成績評価の方法》

筆記試験 0% レポート 0%
 課題 40% 実技 40%
 授業の取組 20%
 その他() 0%

《教科書》

必要に応じてプリント配布。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

・「遊びのひきだしノート」(手遊びや歌遊びの内容・対象年齢・発達ポイントを記したものを)を毎授業開始時に提出。適宜コメント等をつけてフィードバックを行う。(次回授業で返却)
 ・授業内での「遊びのひきだしノート」に記入した遊びの発表について授業内で感想・解説等のフィードバックを行う。

《成績評価基準》

保育実践の場での手遊びや歌遊び等の意義を理解できるようになったか。
 子どもの発達段階や状況に応じた遊びの提案ができるようになったか。
 授業内での遊び実践を通して、保育実践に活用できる遊びのレパートリーを増やすことができたか。

《参考図書》

適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション・「遊び」とは	
2	保育者が提案する遊戯(手遊び等)の意義	
3	グループワーク:手遊び紹介・発表(3歳児)	3歳児向けの手遊びを調べて「遊びの引き出しノート」に記入、発表の練習。(60分)
4	グループワーク:手遊び紹介・発表(4歳児)	4歳児向けの手遊びを調べて「遊びの引き出しノート」に記入、発表の練習。(60分)
5	グループワーク:手遊び紹介・発表(5歳児)	5歳児向けの手遊びを調べて「遊びの引き出しノート」に記入、発表の練習。(60分)
6	グループワーク:手遊び紹介・発表(2歳児)	2歳児向けの手遊びを調べて「遊びの引き出しノート」に記入、発表の練習。(60分)
7	グループワーク:手遊び紹介・発表(1歳児)	1歳児向けの手遊びを調べて「遊びの引き出しノート」に記入、発表の練習。(60分)
8	グループワーク:手遊び紹介・発表(0歳児)	0歳児向けの手遊びを調べて「遊びの引き出しノート」に記入、発表の練習。(60分)
9	視覚教材の意義・使い方について	
10	視覚教材づくり	視覚教材づくり、発表の練習。(60分)
11	視覚教材づくり	視覚教材づくり、発表の練習。(60分)
12	視覚教材づくり	視覚教材づくり、発表の練習。(60分)
13	視覚教材づくり	視覚教材づくり、発表の練習。(60分)
14	視覚教材の発表・フィードバック	視覚教材づくり、発表の練習。(60分)
15	まとめ	

《専門科目》

科目名	保育実習指導 A				
担当者氏名	吉原 美南子、溝上 敦子、高丘 有季乃				
授業方法	演習	単位・必修	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。				

《授業の概要》

【保育士必修】

本実習の準備として基本的なマナー及び実習の基礎知識等を身に付ける。一日見学実習に必要な書類、課題、授業内でのワーク等に丁寧に取り組み、期限厳守が求められる。実習生としての自覚を持ち、基本的マナーや知識、実習の意義や目的等を理解した上で、一日見学実習（保育所・施設）を経験し、今後の課題や目標を明確にする。

《授業の到達目標》

保育実習の意義・目的を理解し、実習生としての基本的なマナーや身だしなみを意識して授業に取り組むことができる。一日見学実習に必要な書類や授業内のワーク等の提出期限を厳守できる。実習中の観察の視点や日誌の書き方等を学び、一日見学実習の実践や日誌の作成時に活用でき、自らの実習の目標を設定し説明できる。直前指導・一日見学実習・事後指導を通し自己評価し、課題・学習目標を明確化できる。

《成績評価の方法》

課題 45%
レポート 30%
授業の取組 25%

《教科書》

新訂 知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド 第二版 [編著]石橋裕子・林 幸範
同文書院

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

提出物・課題：各教員からの解説時間を設ける。
ワークシート：毎回授業後に提出する。翌週の授業開始時に返却する。

《成績評価基準》

保育実習の意義・目的の理解、実習生としての基本的なマナーや身だしなみを意識し、一日見学実習に必要な書類、授業内ワーク等の提出期限厳守、実習中の観察の視点や日誌の書き方を学び、一日見学実習の実践や日誌の作成時に活用、自らの実習目標を設定し説明でき、直前指導・一日見学実習・事後指導を通し自己評価、課題や学習目標を明確化すること等できたか。

《参考図書》

改訂2版『これだけは知っておきたい 保育のマナーと言葉』長島和代(編)わかば社
その他の参考書は、授業内で適宜提示する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	予習:教科書に目を通す。(30分) 復習:授業内学習を振り返り、教科書2~5頁をまとめ、その関連頁を読む。(30分)
2	実習の意義と目的(1) 位置付けと資格取得	予習:「保育士資格取得課程履修内規」便覧115~116頁、教科書6~9頁を読む。(30分) 復習:「保育士資格取得課程履修内規」の振り返り、授業関連頁のまとめ。(30分)
3	実習の意義と目的(2) 必要な手続き(1)	予習:教科書22~23頁、178~181頁を読む。(30分) 復習:授業内提示の実習関連書類を期日より早めに仕上げ提出する。(30分)
4	保育所についての理解 名札作成(1)	予習:教科書18~21頁、178~175頁、参考書32頁を読む。(30分) 復習:授業内提示の課題を振り返り、期日より早めに提出物を仕上げる。(30分)
5	必要な手続き(2) 名札作成(2)	予習:教科書26~29頁を読む。29頁最後の問いの答えを考える。(30分) 復習:施設調べ学習課題を、期日より早めに仕上げ提出する。(30分)
6	基本的マナーについて 施設調べ学習の発表	予習:参考書10~13頁、18~19頁を読む。(30分) 復習:グループ内での学びを深める。授業内学習から自己を振り返る。
7	事前オリエンテーション について	予習:教科書14~21頁、参考書28~31頁、40頁を読む。(30分) 復習:授業内提示資料を熟読する。(30分)
8	実習の心得・目標設定 守秘義務について	予習:教科書180~181頁、204~206頁、参考書56~57頁を読む。(30分) 復習:授業内提示資料を熟読する。(30分)
9	一日見学実習先の発表 メンバー顔合わせ	予習:教科書18~21頁、参考書18~19頁、22頁、40頁を再確認する。(30分) 復習:授業内提示資料を熟読する。(30分)
10	実習日誌の意義 実習時の注意事項	予習:教科書180~188頁を読む。(30分) 復習:授業内提示資料を熟読する。(30分)
11	必要な手続き(3) レポート課題について	予習:教科書52~53頁、参考書86~91頁を読む。(30分) 復習:授業内提示資料を再考する。(30分)
12	実習日誌の書き方 実習の目標・課題設定	予習:教科書180~188頁、参考書86~91頁を再確認する。(30分) 復習:授業内提示資料を再考する。(30分)
13	自己到達目標の実施 実習中の連絡・手続き	予習:ワークシート及び授業内容を振り返り、見学実習に備える。(30分) 復習:授業内提示資料を熟読する。(30分)
14	一日見学実習直前指導 事後課題について	予習:実習の心構え、準備物等を確認する。(30分) 復習:授業内提示資料を熟読し再考する。(30分)
15	一日見学実習 施設・保育所	予習:実習に必要な準備物等を再確認する。(30分) 復習:事後課題を作成し、期日前に提出する。(30分)

《専門科目》

科目名	検定読解				
担当者氏名	高向 有理				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

日本語能力試験N2レベルを目標とした読解力を上げるための練習をします。目標はN2合格ですが、その練習を通して日本での生活に必要な文章を読む力を身につけます。授業は課題の開設を中心に行います。必ず課題を解いて全授業に出席してください。読解力向上のポイントは自宅学習です。自己管理能力を身につけましょう。

《授業の到達目標》

- ・学校や生活に必要な説明文や指示文を読んで内容を理解することができる。
- ・かんたんな内容の評論やエッセイを読んで、因果関係や筆者の考え方が理解できる。
- ・かんたんな内容の複数のテキストを読み比べて、共通点や相違点を述べるができる。
- ・文章から必要な情報を探し出すことができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 50% レポート %
 課題 30% 実技 %
 授業の取組 20%
 その他 () %

《教科書》

日本語能力試験問題集N2読解スピードマスター
 (Jリサーチ出版)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題の解説は次回の授業内で行う。
 理解度確かめるために、小テストを実施し添削して返却する。

《成績評価基準》

- ・毎回課題にしっかり取り組んで授業にのぞんでいたか。
 - ・授業で学んだ語彙や文法とまとめノートを作るなど自宅学習が十分になされていたか。
 - ・文章を理解するためのストラテジーを身につけることができたか。
- 以上の取り組み方と模試・期末試験で総合的に評価する。

《参考図書》

日本語能力試験N2関連問題集を適宜紹介します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	実力テスト 身の回りの文書	予習：授業内容の確認 30分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
2	通知文・お知らせ	予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
3	意見文	予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
4	説明文	予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
5	エッセイ	予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
6	小説	予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
7	新聞	予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
8	グラフと図表	予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
9	論説文	予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
10	統合問題	予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
11	模擬試験	予習：模擬試験準備 60分 復習：模擬試験の見直し 60分
12	模擬試験の解説 情報検索	予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
13	過去問題	予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
14	過去問題	予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分
15	期末試験 まとめ	予習：期末試験準備 60分 復習：まとめ

《専門科目》

科目名	検定文法				
担当者氏名	入江 千治				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

- 1.N2レベルの文法を理解し、くり返し使い方を練習する。
- 2.N2レベルの文法を使って、文章を書く練習をする。

《教科書》

『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2』

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

- ・テキストの各ユニット終了後、小テストを行い、翌週フィードバックを行う。
- ・毎週、宿題を提出し、翌週返却、フィードバックを行う。

《授業の到達目標》

- 1.日本語能力試験N2合格に向け、文法力の向上を目指す。
- 2.テキストで学んだ文法をよく理解し、日本語能力試験の問題において、正しい答えを導き出せる。
- 3.テキストで学んだN2文法を使用し、文章が書ける。

《成績評価基準》

- ・N2文法をよく理解し、文法力が向上できたか。
- ・日本語能力試験の問題において、正しい答えが導き出せるようになったか。
- ・N2文法を使用し、文章が書けるようになったか。

《成績評価の方法》

- ・期末試験50%
- ・小テスト・課題30%
- ・授業への取り組み20%

《参考図書》

パワードリル文法N2

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	授業についての説明 N2文法 導入・練習	予習：テキストの内容を確認/過去に学んだ文法の復習をしておく。(30分) 復習：第1回授業内容の復習(30分)
2	N2文法 導入・練習	予習：第2回授業内容の予習(30分) 復習：第2回授業内容の復習(30分)
3	小テスト N2文法 導入・練習	予習：第3回授業内容の予習(30分) 復習：第3回授業内容の復習(30分)
4	N2文法 導入・練習	予習：第4回授業内容の予習(30分) 復習：第4回授業内容の復習(30分)
5	N2文法 導入・練習	予習：第5回授業内容の予習(30分) 復習：第5回授業内容の復習(30分)
6	小テスト N2文法 導入・練習	予習：第6回授業内容の予習(30分) 復習：第6回授業内容の復習(30分)
7	N2文法 導入・練習	予習：第7回授業内容の予習(30分) 復習：第7回授業内容の復習(30分)
8	N2文法 導入・練習	予習：第8回授業内容の予習(30分) 復習：第8回授業内容の復習(30分)
9	小テスト N2文法 導入・練習	予習：第9回授業内容の予習(30分) 復習：第9回授業内容の復習(30分)
10	N2文法 導入・練習	予習：第10回授業内容の予習(30分) 復習：第10回授業内容の復習(30分)
11	N2文法 導入・練習	予習：第11回授業内容の予習(30分) 復習：第11回授業内容の復習(30分)
12	小テスト N2文法 導入・練習	予習：第12回授業内容の予習(30分) 復習：第12回授業内容の復習(30分)
13	N2文法 導入・練習	予習：第13回授業内容の予習(30分) 復習：第13回授業内容の復習(30分)
14	N2文法 導入・練習	予習：第14回授業内容の予習(30分) 復習：第14回授業内容の復習(30分)
15	総復習 期末テスト	予習：テスト前の総復習(60分) 復習：テスト後の確認(30分)

《専門科目》

科目名	検定文字語彙				
担当者氏名	高向 有理				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

N3からN2レベルの教科書に沿って授業を進めます。3000～6000語を習得するためには自宅学習が必須です。予習・復習に時間をかけ、授業では語彙の運用と確認と応用小テストの繰り返しで力をつけていきましょう。語彙力は日本語力向上の第一歩です。

《教科書》

新完全マスター語彙 日本語能力試験N2
(スリーエーネットワーク)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

小テスト、模擬試験は翌週にフィードバックします。

《授業の到達目標》

- ・日本語能力試験N3～N2レベルの漢字を読むことができる。
- ・N3～N2レベルの語彙の意味を調べ、短い文の中で使うことができる。
- ・名詞・基本動詞などは、自分で調べ、不明な点を教師に質問できる。
- ・日本語能力試験合格を目指し、自主的に取り組むことができる。

《成績評価基準》

- ・日本語能力試験N3～2レベルの漢字が読めるか。
- ・N3～2レベルの語彙の意味を調べ、短い文の中で使えるか。
- ・名詞・基本動詞は自分で調べ、不明な点を教師に質問できるか。
- ・日本語能力試験合格を目指し自主的に取り組めるか。

《成績評価の方法》

筆記試験 30% レポート %
課題 30% 実技 %
授業の取組 30%
その他(模試) 10%

《参考図書》

日本語能力試験関連問題集

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション、実力テスト	予習: 実力テスト準備 1時間 復習: 実力テスト復習 30分
2	実力テスト FB、語彙(社会1)	予習: 語彙(社会1) 30分 復習: 語彙(社会1) 30分
3	語彙(社会2)・短文作成	予習: 語彙(社会2) 30分 復習: 語彙(社会2) 30分
4	小テスト、語彙(社会3)・短文作成	予習: 語彙(社会3) 30分 復習: 語彙(社会3) 30分
5	語彙(自然)・短文作成	予習: 語彙(自然) 30分 復習: 語彙(自然) 30分
6	小テスト、語彙(和語動詞)、短文作成	予習: 語彙(和語動詞) 30分 復習: 語彙(和語動詞) 30分
7	語彙(漢語動詞)、短文作成	予習: 語彙(漢語動詞) 30分 復習: 語彙(漢語動詞) 30分
8	日本語能力試験模擬試験	予習: 模試準備 1時間 復習: 模試復習 1時間
9	小テスト、語彙(形容詞)、短文作成	予習: 語彙(形容詞) 30分 復習: 語彙(形容詞) 30分
10	語彙(副詞)、短文作成	予習: 語彙(副詞) 30分 復習: 語彙(副詞) 30分
11	小テスト、語彙(オノマトベ)、短文作成	予習: 語彙(オノマトベ) 30分 復習: 語彙(オノマトベ) 30分
12	語彙(漢語)、短文作成	予習: 語彙(漢語) 30分 復習: 語彙(漢語) 30分
13	小テスト、語彙(言い換え類義)短文作成	予習: 語彙(言い換え類義) 30分 復習: 語彙(言い換え類義) 30分
14	語彙(語形成)、短文作成	予習: 語彙(語形成) 30分 復習: 語彙(語形成) 30分
15	期末試験、まとめ	予習: 期末準備 2時間

《専門科目》

科目名	アジア文化交流史				
担当者氏名	永吉 美知子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

日本との長い文化交流を時系列に紹介する
理解を深めるために 様々な資料やパワーポイントなどを用いる

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

小テストと課題レポートの提出

《授業の到達目標》

文化交流がもたらされた歴史の必然性を理解する
過去の歴史が現代に影響し 未来を形づくることを意識化させる

《成績評価基準》

授業中の態度 小テスト 評価テスト

《成績評価の方法》

筆記試験70 % レポート %
課題 % 実技 %
授業の取組30 %
その他 () %

《参考図書》

なし

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)	
1	オリエンテーション 農業革命	復習	縄文と弥生時代(2時間)
2	古墳時代	予習 復習	奈良へのながれ(2時間) 弥生までの流れ(2時間)
3	飛鳥から奈良時代 遣隋使 遣唐使	予習 復習	平安時代(2時間) 中国との往来がかえたもの(2時間)
4	奈良時代 仏教文化	予習 復習	平安時代(2時間) 奈良時代を終わらせたもの(2時間)
5	平安時代 国風文化	予習 復習	鎌倉時代(2時間) 平安時代の貴族の政治(2時間)
6	鎌倉時代 武士と元寇	予習 復習	室町時代(2時間) 武士が変えた社会 元寇の影響
7	室町時代 文化	予習 復習	安土桃山(2時間) 室町文化(2時間)
8	安土桃山 鉄砲伝来	予習 復習	江戸時代(2時間) なぜ鉄砲は日本へきたかの(2時間)
9	江戸時代 鎖国と江戸文化	予習 復習	明治(2時間) なぜ鎖国をしたのか(2時間)
10	江戸時代 明治維新 黒船が日本へ	予習 復習	大正時代(2時間) なぜ黒船は日本へ(2時間)
11	明治時代 大正時代 条約改正 世界大戦	予習 復習	昭和時代(2時間) 大正時代(2時間)
12	昭和時代 敗戦まで	予習 復習	敗戦後の日本(2時間) 原爆投下までの道(2時間)
13	敗戦から現代まで	復習	全体の流れを把握する(4時間)
14	評価テスト対策	復習	対策テストの理解 (4時間)
15	評価テスト	自宅で復習	

《専門科目》

科目名	ビジネスコミュニケーション				
担当者氏名	井上 しづ恵、高藤 純子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

社会に出る前に常識として知っておかなければならない時事用語やビジネス用語がある。先ずそういった常識を学び、知識を得た上で、新聞記事やビジネス文書を読めるようにする。更に、表やグラフなどを分析し、問題をあぶり出し、問題解決につながる糸口を提起できる力を身につける。

《教科書》

ビジネス能力検定ジョブパス

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回演習問題を解き、授業内で解説する

《授業の到達目標》

- ・インターシップ前におさえておきたいビジネス知識やビジネスマナーを理解することができる。
- ・仕事に役立つ論理力を養うことができる。
- ・時事用語やビジネス用語を理解することができる。
- ・表やグラフを見て、問題発見や分析ができる。
- ・ビジネス能力検定3級に合格するする実力を身につけることができる

《成績評価基準》

授業での演習を通して、ビジネス能力検定3級レベルの知識、思考力、分析力を身につけることができたかを評価する

《成績評価の方法》

筆記試験 40% レポート %
課題 % 実技 %
授業の取組 60%
その他 () %

《参考図書》

適宜紹介する

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	キャリアと仕事へのアプローチ	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
2	仕事の基本となる8つの意識	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
3	コミュニケーションとビジネスマナーの基本	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
4	指示の受け方と報告、連絡・相談	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
5	話し方と聞き方のポイント	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
6	来客応対と訪問の基本マナー	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
7	会社関係でのつき合い	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
8	仕事への取り組み方	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
9	ビジネス文書の基本	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
10	電話応対	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
11	統計・データの読み方・まとめ方	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
12	情報収集とメディアの活用	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
13	会社を取り巻く環境と経済の基本	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
14	ビジネス用語の基本	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
15	知識・読解・分析などの総括	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する

《専門科目》

科目名	ビジネスライティング				
担当者氏名	志田 華奈子、高藤 純子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

自らの意見や立場を言葉で明確に表明することは社会人として必要なスキルである。日本語は書き言葉や話し言葉、場面などで、さまざまな使い分けが必要な言語である一方、新しい表現を生み出しやすい言葉でもある。この授業では、さまざまな資料から多くの日本語表現に触れつつ、自らも文章を書き、他者への伝わり方を議論することで、コミュニケーションの道具としてのことばを活用できるスキルを磨く。

《授業の到達目標》

- ・社会に出るにあたって必要な文章力や表現力を磨き、場面に応じた日本語表現を使用することができる。
- ・自らの意見や表現したいことを、他者がわかりやすいように言葉に表すことができる。
- ・語彙力や表現力を伸ばすために、普段から身の回りにおけることばの表現に関心を持ち、調べ、それらを使用できようになる。

《成績評価の方法》

筆記試験 40%
課題 30%
授業の取組 30%

《教科書》

適宜プリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

コメントをつけて返却する

《成績評価基準》

- ・社会に出るにあたって必要な文章力や表現力を磨き、場面に応じた日本語表現を使用することができたか。
- ・自らの意見や表現したいことを、他者がわかりやすいように言葉に表すことができたか。
- ・語彙力や表現力を伸ばすために、身の回りのことばの表現に関心を持ち調べ、それらを使用できようになったか。

《参考図書》

『大学生のための日本語表現トレーニング』橋本修(三省堂)
『形容詞を使わない大人の文章表現力』石黒圭(日本実業出版社)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
2	話し言葉と書き言葉	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
3	描写 (見たものを描写する)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
4	描写 (絵や動画を描写する)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
5	形容詞問題	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
6	外面と感覚の表現	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
7	伝え方のコツ (依頼)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
8	伝え方のコツ (効果的な表現)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
9	SDS法・文章のコツ	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
10	敬語表現	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
11	メールの書き方	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
12	ビジネス文書	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
13	自己PR文 (自己分析)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
14	自己PR文 (文作成)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
15	期末試験 まとめ	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)

《専門科目》

科目名	実践的プログラミング演習				
担当者氏名	柿山 達哉、常岡 直樹				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力					

《授業の概要》

Excelの一般的な利用方法の解説と実習。
 マクロ・VBAの概要の解説と実習。
 マクロを使ってプログラムを作成する。
 作成したプログラムのプレゼンテーションをおこなう。

《教科書》

今すぐ使えるかんたんエクセル2019
 井上香緒里著
 技術評論社

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

個人ごとに課題に対する評価レポートを提示し、説明する。

《授業の到達目標》

マイクロソフトExcelの基本的な関数機能を使用することができる。
 簡単なExcelマクロ機能のプログラミングからテストができるようになる。

《成績評価基準》

- ・授業に対し意欲的に取り組んでいたか。
- ・課題に対して真摯に取り組むことができたか。
- ・出席率、予習、復習を重視します。

《成績評価の方法》

課題 60%
 授業の取組 40%

《参考図書》

適宜紹介します

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	講座の目標と2年間の講義内容説明	予習：なし 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
2	パソコン活用術	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
3	パソコン活用術	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
4	エクセルの基本操作	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
5	エクセルの計算式と関数	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
6	エクセルでよく使う関数の解説と実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
7	エクセルでよく使う関数の解説と実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
8	エクセル計算式と関数の実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
9	エクセル計算式と関数の実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
10	マクロ・VBAとはVBAで何ができるのか	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
11	簡単なマクロコーディング・開発画面の使い方	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
12	簡単なマクロコーディング・VBAの基礎知識	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
13	簡単なマクロコーディング・VBAの基礎知識	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
14	簡単なマクロコーディング・実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
15	簡単なマクロコーディング・実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)